

## 連携機関ご紹介コーナー

## 医療法人 増田ファミリークリニック

院長 増田 幹雄 Mikio Masuda

 昭和47年／関西医科大学卒業  
昭和52年／開業

**趣味**／柳宗悦、河井寛次郎、浜田庄司らが、日常使用している茶碗、湯飲み等日常雑器にも美が有ると説きました。日常生活の中にそういった美を感じる事で、気持ちをリラックスさせてくれ、その美を見分ける目を養っていけば、人間もより診る事が出来るのではと考えている。物の美として、健やかで、無駄が無く、正直で、威張らないと言う民芸な見方が好きで、自分自身もそう言う人間になりたいと思っている。アクティブな趣味では無いが、インターネットでも取り寄せる事が出来る。

**健康法**／特別な健康法は無く、医者の不養生を地で行っています。なかなかスポーツとかに時間がとれない。物に心を癒されている。

## 自院のやりがいは何ですか

子供さんを含め、地域の人たちの健康を守る事に貢献出来ること。



## 毎日の診療で大切にされていることは何ですか

弱い立場の人に寄り添って行きたい。その為に出来るだけ時間を掛けて、お話、訴えを聞くことを心掛けている。地域の人たちの健康を守って恩返しをして行きたい。長命より、長寿の方が増えるように尽くして行きたい。

## JA吉田総合病院に望むこと

安芸高田市医師会と旨く連携が出来ている。今後も現在の緊密な病診連携を続けて頂きたい。又、先進医療の面でも我々開業医を引っ張って行って頂きたい。

## 医療法人 増田ファミリークリニック

住 所 安芸高田市甲田町高田原1474番地3

電 話 0826-45-2031

開 院 昭和52年

標榜科 内科(消化器、呼吸器、循環器、糖尿病、腎臓)・小児科



1. 私たちは何人にも平等に医療を提供します。
2. 私たちは地域の基幹病院として、最良の医療を提供します。
3. 私たちは納得と同意のもとに信頼される医療を提供します。

1. やさしい心で安全・良質な医療・保健・福祉サービスを提供します。
2. 医療を受ける人びとの人格、権利を尊重し、全ての人に貢献します。
3. 生涯学習の精神を保ち、知識と技術の習得に努めるとともに、医療の質向上に尽くします。
4. 努力と強調で健全経営に努め、明るい職場をつくりまします。
5. 病院の公共性を重んじ、事業を通じて地域に尽くすとともに、法規を遵守します。

 やさしい心で  
良質な医療を

早春号

vol.57

JA吉田総合病院

 発行/広島県厚生農業協同組合連合会 吉田総合病院  
〒731-0595 広島県安芸高田市吉田町吉田3666  
Tel.0826-42-0636 Fax.0826-47-0007  
2018年(平成30年)3月発行  
http://yoshida-gene-hospi.jp/

Facebookを開きました



部署紹介

## みなさまに頼られる外来を目指します

外来科長 船岡 知美



吉田総合病院には、1日に約450～550の方が受診されています。

診療科は内科・精神神経科・小児科・外科・整形外科・脳外科・皮膚科・泌尿器科・婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・麻酔科・放射線科・リハビリテーション科の14科と、採血・点滴など処置を行う中央処置室があり、看護師28名・クラーク17名、土日・祝日は看護師2名、夜間は看護師1名で対応しております。

また当院には、認知症看護専門外来、緩和ケア外来、フットケア外来があります。



人工肛門や褥瘡に関する相談も受け、各診療科や病棟とも連携を取り、専門的な資格を持った看護師がお話を伺い、治療や生活のサポートができるよう対応しております。ご相談がある方は各診療科にお問い合わせください。

現在、国の方針に伴って病院の役割・外来の役割も変化しています。

以前に比べ入院期間が短くなっていることにお感じになっている方もおられると思います。以前は入院して行っていた治療を、外来で行うことも多くなりました。手術後の傷の抜糸は、退院後に初めて受診された外来で行ったり、抗がん剤治療や手術の内容によっては、入院はせず、外来で行うという大きな役割を果たしています。

入退院支援室も設置されており、安心して入院生活が送れるように入院前から関わらせて頂き、必要な情報を入院される病棟につないだり、退院後の生活を見据えて、多職種と連携が取れるよう働きかけたりしております。

また、外来には経験豊富な人材が多く、それぞれが各診療科で力を発揮しておりますので、お困りのことや、家での生活の状況をお話し下さい。検査や処置、治療に関する対応はもちろん、生活の支えとなれ

るように、患者さまやご家族にとって何が一番良いのか、一緒に考えていきたいと思っております。

近年、受診される方が高齢化しているため、ご家族の協力が必要です。可能な限り、電話番号等の連絡方法をご持参頂ければ助かります。



外来は地域での生活が安心して送れるように、地域と病院をつなぐ窓口として、また、受診して良かったと思えるような病院、皆様から頼りにされる外来を目指して、スタッフ一同頑張っております！





## 第2回 ミニ市民公開講座を開催しました

テーマ「冬に多い感染症」～自分の身体を知って 人生を豊かに生きよう～

日時／平成29年11月24日(金) 13:30～15:00



上記内容にて第2回ミニ市民公開講座を開催しました。今回は「冬に多い感染症」をテーマとして、内科医師前田憲志先生が

「高齢者の肺炎」と題して講演を、そして感染管理認定看護師田中千苗氏による「冬の感染症・突然の嘔吐・下痢の対応」と題しての講演がありました。前田先生は肺炎について高齢者が注意



することを解りやすく説明いただきました。また、田中千苗認定看護師の講演では、実技を交えて家庭でも出来る嘔吐物の処理の仕方等を解りやすく説明し、参



加者も知識を広めることができました。

その後、「知っ得!!最近の医療・介護のこと」と題して、地域医療連携室 室長 森川洋子氏が、JA吉田総合病院の概況説明と少子高齢化に対抗するために、元気な自立した人生を送るために、健康に注意しましょうと締めくり、盛会のうちに終了しました。

次回、3月に予定しておりますので、皆様ご参加よろしくお願いたします。

### INFORMATION お知らせ

#### HMネット 診療開示病院です。

JA吉田総合病院ではあなたの診療情報を、かかりつけ医院・薬局と共有できる「HMカード(地域共通IDカード)」を無料で発行しています。「HMカード」は、広島県と広島県医師会が運営する広島医療情報ネットワーク(HMネット)によって構築された厳密なプライバシー保護の下にあなたの診療情報の連結と共有を実現します。

HMカードは複数の医療機関にあなたの診療情報を結びつけるため、地域共通ID番号を格納したカードです。行かれた病医院や薬局で名寄せ(カードへのカルテ番号の追加登録)をすることで、あなたの診療情報の連結が進みます。

南館1階地域医療連携室で作ることが出来ますので、詳しくはお尋ねください。



## 第45回 院内学会開催報告



【日時】平成30年2月15日(木) 17:30～18:45 【参加者】78名(内院外8名)  
【会場】JA吉田総合病院 南館4階大会議室

### 院内学会発表演題・部署

- ① 病棟での糖尿病療養指導の取り組み [3階病棟]
- ② TKAの荷重開始時期の違いによる入院期間の検討 [リハビリテーション科・整形外科]
- ③ 吸入薬指導連携システムの構築 [薬剤科]
- ④ 治療に難渋した複雑性尿路感染症の1例 [内科・泌尿器科]
- ⑤ 骨粗鬆症性脊椎骨折患者の入院期間に影響を与える因子の検討 [整形外科・看護科・地域医療連携室・リハビリテーション科・医事課]
- ⑥ 精神科病棟での糖尿病療養指導の取り組み [7-2病棟]
- ⑦ 当院における在宅看取り症例の検討 [津田医院 院長]



今回は、7題(例年4題)と多くの演題発表がありました。多職種・院外からの発表があり、治療を進めていく上で、患者の強みを見つけ、患者と一緒にどうしていきたいかを考えること、そしてその思いを実現するためには、細やかな情報共有、多職種との連携、地域全体で支えていくことが、改めて大切だと感じました。

次回は9月に開催いたします。安芸高田市の医師会・歯科医師会・薬局の皆様もお気軽にご参加・発表をお待ちしております。

院内学会運営委員会

## 医療・介護出前講座に行きました!

【日時】平成30年2月28日 13:20～14:10 【対象】6年生13名  
【場所】安芸高田市立甲立小学校



甲立小学校では、普段、中々お話が聞けない職業の方に学校で、仕事内容・仕事の志望動機等のお話を聞き、児童の将来の夢の実現やこれからの生き方について考える時間を設けられています。今回、安芸高田市立甲立小学校の新本校長先生からご依頼を受け、当院の内科 森元晋医師が出前講座を行いました。

森元医師の自己紹介、医師のイメージ、自分の小さかった頃のこと、なぜ医師になりたかったか等を分かりやすく時系列に話し、児童の皆さんの将来就きたい仕事も1人ずつ聞いて、和気あいあいの雰囲気の中で講座になりました。



質問タイムでは、「今までで1番大変だったことは」「1番嬉しかったことは」等の質問が出て、患者さんへの責任の重さとか、不安になっている人にちゃんと説明するのが大変、私の診察で良くなった、病気が治ったと言われる時は嬉しさを感じる等、児童1人1人に丁寧に説明しました。また、「難しい手術は」の質問には、胃は壁が厚いが大腸は薄いとの専門的な回答もあり、児童の皆さんは興味深々に聞いていました。

今後も、地域を支える若い世代の方に、病院職種で対応できる出前講座を受けていきますので、ご要望がありましたらお気軽に地域医療連携室までご連絡ください。